

えひめ 地域づくり協働体通信

令和2年10月発行

今号では、愛媛県から受託している「集落活性化意識醸成支援事業」において、今年度の実施地区である「東温市奥松瀬川地区」の活動についてご紹介します。今回は、「奥松瀬川創生会議」の事務局長である渡部光右衛門さんと同地区の集落支援員である森田将史さんから取材しました。同地区は、豊かな自然とイメージキャラクターの妖精が印象的な地域で、現在、地域交流拠点施設「ほっこり奥松」を中心として、農作物の直売、手作りのピザ窯設置、パンや竹細工などの教室開設、体験農園の開設など各種の取組みにより、地域内のコミュニティ力向上と地域外からの交流人口の拡大（関係人口含む）を住民主体で進めています。本紙が皆さまの地域で活動される上で、ご参考になれば幸いです。

東温市奥松瀬川地区

キーワード：地方創生、地域資源の活用、地域コミュニティの活性化

★東温市奥松瀬川地区について

奥松瀬川地区は、東温市の真ん中、山あいには位置しています。松山市から車で約40分。人口287人、世帯数は132世帯、高齢化率は44.9%です。豊かな自然を使って、なんでも手づくりでやってのける地元の人々の力で変化し続けている地域です。サイクリングコースとしても楽しめ、慈眼滝、篠森神社や五柱神社などの歴史ある名所や、他にも市指定天然記念物の川筋のイチョウやしだれ桜など季節を楽しめる名所があります。



東温市奥松瀬川地区



★「集落活性化意識醸成支援事業」とは

えひめ地域政策研究センターは、愛媛県から委託を受け、平成30年度から2年間に渡って「集落活性化モデル構築事業」を実施しました。3つのモデル地区における人口の増加については現時点では結びついていないものの、地域住民が主体的に取組みを実践する「意識醸成」については大きく進展が図れました。そこで、本年度から実施する「集落活性化意識醸成支援事業」では、集落活性化に向けた地域住民の「意識醸成」の仕組みを全県的に展開し、併せて地域に継続的に関わっていく「関係人口」づくりを促進することで、地域活性化を一過性の機運醸成で終わることなく、地域住民が主体となって持続可能な集落の活性化を図ります。

★「奥松瀬川創生会議」について



「奥松瀬川創生会議」は地元の農地を守りたいという思いから地方創生を目指す目的で平成28年度に設立され、同会議が実施主体となって地方創生交付金事業を活用し、地域交流拠点施設「ほっこり奥松」を整備しました。同施設では農作物の直売や、手作りのピザ窯設置とピザ焼き体験の提供、体験農園の開設、ツリーハウスの建設など、各種の取組みを行っています。また「妖精の里づくり」を目指して、平成30年度に子供たちによる奥松瀬川に住む妖精創作ワークショップを開催し、そのワークショップで生み出された妖精を登場させた奥松瀬川ガイドブックである「妖精と歩く♪奥松瀬川ほっこりさんぽ」を発刊しています。

①「ほっこり奥松」について



「ほっこり奥松」は、地域外から人を呼びこむのではなく、地域の方を集めて交流し、そこから地域外の方に輪を広めていこうという提案から生まれました。地域で獲れた農作物やパンの販売、及びコミュニティスペースではパン教室、竹加工教室、手芸教室などが開かれており、地域の人だけでなく地域外の方も利用しています。また、同施設の横にはピザ窯があり、ピザ作り体験をすることができます。さらに同施設はコミュニティスペースの貸出も行っており、年数回開催されている「ほっこり山の音楽会」は200人ほどの観客が集まるそうです。

②「ぼんぼこ農園」について

耕作放棄地の対策として、添谷の耕作放棄内を整備・区画分けし体験農園「ぼんぼこ農園」を開設しました。1区画3m×6mの18㎡を利用でき、農業用具の無料貸出もあり、農業に慣れていない方も安心して利用できるようになっています。利用者が無料で使えるパーベキュー場も併設されており、収穫した野菜をその場で調理することができます。現在は16区画、10人ほどが利用しており、農園は今後も区画を拡大していく予定です。



③「ツリーハウス」について

妖精の里のシンボルであるツリーハウスは、地域の方と子供たちが協力して建設しました。木を大切にしている地域ということもあり釘を使わず、木に負担をかけないように工夫したそうです。一方、子供が何十人乗っても大丈夫なようにつくられており、内部の壁には子供たちの描いた妖精の絵が楽しげに飾られています。子供たちが遊び場として利用するほか、ぼんぼこ農園の利用者が休憩場所としていつでも利用できるようになっています。11月には、3密回避のため同所にて山の音楽会が開かれる予定で、ますますのにぎわいが期待されています。



★取材後記

「妖精の里」をテーマに地域づくりをされている東温市奥松瀬川地区。その豊かな自然をそのまま生かして人とのつながりを大切に地域づくり活動をされている印象でした。今後は「妖精の里」づくりを推進するほか、森のようちえん、柚子やワイン用ブドウを育てたりと、たくさんの取組みを進められる予定です。今回、本紙でご紹介しました「奥松瀬川創生会議」の地域活性化に向けたこれらの取組みが、愛媛県内各地域で活動されている皆さまのご参考になれば幸いです。

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」 Facebook

地域の活動情報の連絡先/この情報紙に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: chiikiseisak@pref.ehime.lg.jp

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: info@ecpr.or.jp